

令和5年度

赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年6月9日(金)

校長 高橋 励



～保護者の皆さまへ～

百聞は一見にしかず・ぜひお越しを!

～6月17日は土曜参観日です～

昨年度の学校評価アンケートの中で「学校での活動の様子が分からない」というお声をすいぶんいただきました。4月17日の懇談会開催日には授業参観が持てなかったこともあり、今回は、ぜひ当日足をお運びいただきたいと思っています。



お越しの際は、教室の扉を開放しておきますので、ぜひ、中まで入ってみてください。そして、お子さんが、クラスメイトとともに学びに参加しているか、授業のめあてや目標を理解して、自分の力(資質・能力)を高めようとする取り組みができているか、その姿を見てあげてください。どれだけ覚えたかと何を理解したかは同じようで違います。ご家庭で授業参観の話題に触れる時には、お子さんががんばっていた姿を言葉にして伝えてあげてください。

さて、授業参観あるあるですが、最後に一つお願いします。「廊下での保護者同士のおしゃべり・交流はNG」です。学校の授業は商業施設のアトラクションではなく、子どもに提供されている大切な時間です。保護者であってもそれを妨害するのはダメですね。学校の教育環境は、通う子ども一人ひとりにかかわる私たちが守るモノ。ご理解とご協力をお願いいたします。

「感謝の気持ち、伝えたかった」

というお電話をいただきました(*^_^*)

キーワード・「中学生のおにいさん」!

お電話をくださった方のお孫さん(小学校2年生)の話です。

今週火曜日、朝8時30分頃、手を血だらけにしたお孫さんが戻ってきていたところに出くわしたそうです。聞いてみると、7時50分過ぎた頃に家を出たけれど登校途中で転んでケガをしてしまったこと、泣いていたら通りがかった「おにいさん」が声をかけて家まで一緒に戻ってくれたこと、などを話してくれたそうです。転んで血が出るのは小学校2年生にとっては大事件!心細さも考えると「おにいさん」にはとても助けられたようです。けれども、お礼も伝えられないまま。

そんな心根の優しい生徒さんがいることをせめて学校には知らせておきたい、とお電話くださったそうです。その方は5月8日号の「たのもしいせなか」を目にしてくださっていて、今回、身近にもそんな素敵なお孫さんがいたんだなあ、と改めて思ったそうです。

ご連絡いただければ誰にも知られない話です。もしかしたら当人にとっては当たり前のことをしただけかもしれませんが、でも、お電話いただいた方の代わりに想いを伝えたいと思った校長でした。

あなたの優しさはとても素敵です!

Dear Student(*^_^*)

少しオトナになるために

～小和田小学校運動会エピソード～

小和田小学校の運動会。参観のお礼と併せてこんなお話を聞きました。

でも、中には、お年寄りや小さいお子さんが休めるように休憩場として開放していた体育館で、倉庫の中に入ったり、ボールを出して遊んだりしていた中学生もいたみたいですよ……。

“自分たちが通った場所なので、悪気はなく昔を懐かしんでいたのかもしれませんが”と言ってくさいましたが、それで済む話ではありません。オトナになるために大切なことなので、ちょっと話題にしておきます。

「学校」は、その時々でそこで学ぶ人にとっての場所です。卒業した小学校は、もうあなたが通っていたときのように勝手に振るまってよい場所ではありません。また、それを理解して自分の立場をわきまえるということは、オトナとして社会に出るうえでは知っておくべきことです。

また、こんな話も聞きました。

来てくれた中学生の中には、運動会が終わった後の時間までいてくれて、テントを片付けるのを手伝ってくれた子もいたんです。小学校時代にかかわった先生方も「立派に成長したね」とうれしそうに話していました。みんな、また、顔を見せに来てほしいみたいです。

それぞれに思い出がある小学校。せっかくならあなたの成長を見せたいものです。ちなみに。あなたが赤羽根中学校を卒業してからこの学校を訪れるのであれば、まず事前に連絡を入れて、会いたい先生の都合を確かめるくらいの“お作法”を身につけておけるといいですね。自分以外の周囲の人や相手の都合に配慮することは、オトナとしての常識ですから(*^_^*)

少しずつオトナになりましょうね。

【協力をお願い】

雨の多い季節。昇降口でホコリをかぶっている傘が気になっています。もし、自分の傘があるようでしたら、14日(水)までに一度引き上げてください。残ったものは片付けようと思っています。ご協力を！

Dear Student(*^_^*)

2階校長室には、まだ“どっどっど”という足音が聞こえてきますが、最近“走らないヨー”という呼びかけの声と一緒に聞こえてくるのが…。先生でしょうか？生徒でしょうか？呼びかけ、ありがとう！（上の体育館の一件も、一緒にいた誰か一人が気づいて声をかけていたら…）誰かにケガをさせてから叱りつけられても、起きたことは消えません。足音の主にも早くそのことに気がついてほしいなあ、と思う校長です。

テスト1週間前は、生徒会本部の朝のあいさつお休み。そんな時期だからこそ“チームおはよう！”の皆さんの変化に気づきました。ふだんは生徒会本部の元気な“先制攻撃”が目立ちますが、今週、静かな正門で、改めて、相手(わたしのこと)を意識して自分から“おはようございます”を届けてくれる人がとても増えていることに気づきました。これは、毎朝の雰囲気を取り組んでくれている生徒会本部の継続の賜であると同時に、“いいあいさつから始めよう！”と自分でワザを磨いている人が増えた証。これから暑くなります。お互いに“質のよいあいさつ”で気持ちのいい朝にしていきたいですね(*^_^*)